



**2** 明るく見やすく  
展示資料も充実！



展示内容・環境の整備で、資料館としての価値も向上

資料館内全体の照明を見直しました。環境への配慮と、より見やすくするために、照明をLED化しました。

また、資料展示のレイアウト見直しを行いました。鉄道模型ジオラマを取り囲むように資料を展示しているほか、旧吾平駅跡にあった「吾平町鉄道資料館」の資料を集約し、展示を充実させました。

なお、吾平町鉄道資料館については、平成27年9月に閉館し、現在は市基幹型地域包括支援センターとして活用しています。

**1** 在りし日の大隅線の  
勇姿が映像で復活！



60インチディスプレイの中で大隅線が復活

正面入り口から入って右側の奥に新しく、「あの日の大隅線」映像コーナーを設置しました。

市内を走行する車両の勇姿や鉄道を利用していた人へのインタビュー、運転士の目線から見た大隅線の風景や保線作業の様子など、在りし日の大隅線や沿線の生活の様子などを映像で楽しめます。

また、昭和62年3月13日の、旧国鉄大隅線廃線の記念式典の様子が、廃線を惜しむ利用者の様子を撮影した、貴重な記録映像も見ることができます。

**4** 鉄道模型がより大きく  
より見やすく！



台数も増えてダイナミックになった鉄道模型

正面入り口から入って左側には、大型の鉄道模型を展示しています。

今回のリニューアルでは、ガラスケースを大きくし、見やすく改修しました。大きさは約370cm×240cm、畳5枚ほどの面積で、ダイナミックな走行風景を楽しむことができます。また、自分で運転できる鉄道模型も展示しています。

日本各地を走る様々な種類の鉄道を、自分の好みで走らせることができるのが、鉄道模型ならではの魅力です。

**3** キッズコーナーで  
子どもも楽しめる！



鉄道玩具や鉄道模型は、子どもが鉄道に親しむ第一歩

小さい子どもにも鉄道に親しんでもらうことを目的として、キッズコーナーを新たに設置しました。

キッズコーナーには鉄道玩具を整備し、自由に遊ぶことができます。子どもの興味に合わせて、鉄道玩具や鉄道模型で遊んでもらい、鉄道へ親しんでもらうとともに、幅広い世代で楽しめる記念館になりました。

鹿屋に鉄道が通っていたことを知らない世代が子育て世代となっている今だからこそ、親子で楽しめる鉄道資料館になりました。

鉄道記念館サポーター

- 上迫 英一さん (元・国鉄職員)
- 永吉 祐治さん (元・国鉄職員)
- 中村 幹雄さん (元・国鉄職員)
- 小手川 清隆さん (大隅線研究家)
- 塚元 常之さん (鉄道愛好家)
- 濱 宏行さん (鉄道愛好家)
- 富吉 郷太さん (鉄道愛好家)

「鹿屋の鉄道の歴史を末永く伝えたい」という思い。これからは鹿屋の鉄道の歴史のために役に立てれば、と思います。

サポーターに共通するのは、

「鹿屋の鉄道の歴史を末永く伝えたい」という思い。これからは鹿屋の鉄道の歴史のために役に立てれば、と思います。



かみぎき えいいち 上迫 英一さん (元・国鉄職員)

INTERVIEW

私たち「鉄道記念館サポーター」7人は、今回の鉄道記念館リニューアルにあたり、それぞれの得意分野ごとに監修をさせていただきました。ロゴのデザイン、鉄道模型、展示品など、鉄道記念館の再出発に携われたことは、嬉しくもあり、感慨深くもあります。



これまででの鉄道記念館  
大隅半島を横断する旧国鉄大隅線は、大隅半島の主要な公共交通機関として、半世紀にわたって旅客・貨物輸送などを担っていましたが、昭和62年3月に廃止されました。

大隅線の歴史を後世に伝えるため、昭和63年、鹿屋駅跡地に鉄道記念館が建設され、鉄道の歴史を学ぶ施設として、その役割を果たしてきました。

開館以来、多くの人に親しまれてきましたが、経年劣化への対応や、平成29年3月には大隅線廃止から30年の節目を迎えることなどからリニューアルを行い、9月30日にリニューアルオープンしました。

愛称とロゴマーク  
新たに「鹿屋駅」という愛称をつけました。大隅線や鹿屋駅の懐かしさを多くの皆さんに感

装い新たに「鉄道記念館」リニューアル

市では、旧国鉄大隅線の貴重な歴史を末永く伝え、広く公開する施設である「市鉄道記念館」を全面リニューアルしました。

市総務課 (3階) ☎0994・31・1127



鉄道記念館サポーター  
リニューアルにあたり、元・国鉄職員や鉄道愛好家など7人から「鉄道記念館サポーター」を委嘱し、協力いただきました。

実際に鉄道運行に携わっていた人ならではの深い視点や、鉄道愛好家ならではの幅広いアイデアでリニューアルを監修していただき、より魅力的な記念館に生まれ変わりました。

次のページでは、リニューアルのポイントを紹介します。

- リニューアルのポイント
- 1 映像コーナー
  - 2 展示資料・照明
  - 3 キッズコーナー
  - 4 鉄道模型